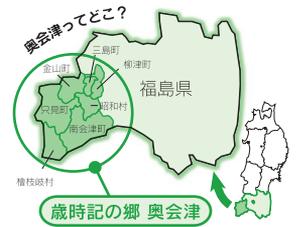


# 奥会津だより

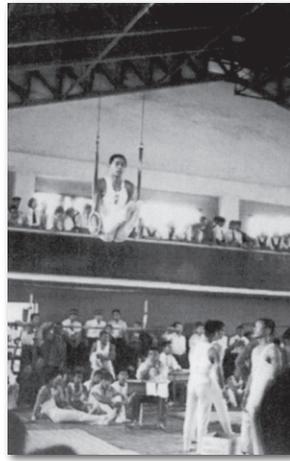


早春の山で カモシカは若芽を食んでいる  
残雪から茎を伸ばしたカタクリも 花びらを広げた  
モノクロームの世界に約束されていた春  
命を孕んだ鮮やかな色が日ごとに満ちてくる

写真：田沼隆之

# じいちゃんクラブ活動

この写真はじいちゃんが高校の時のクラブ活動の写真です。そのころは只見高校は三組もあつたそうです。たくさん人がいたそうです。この写真は休みの県大会でつりわをしているところだそうです。いまは休もうクラブもなく



只見町立只見小学校 五年 目黒 拓海

なつてしまいました。そのころはいろんなクラブ活動があつたそうです。

ぼくは、つりわをしてみたいです。つりわのほかに、てつぼう、へいこつぼう、あんば、ちようば、ゆかの六種目があつたそうです。一人で全部のきょうぎをやつていたそうです。大会で、ゆうしようはできなかったけど、いっしょうけんめいがんばつていたそうです。とくいなきょうぎは写真にうつっているつりわだそうです。

体そうきょうぎはあまり見たことがないのでみてみたいなあと思えました。じいちゃんは今でもとくいなつりわをできるのかなあと思えました。今でもできたらみてやつてみたいと思えました。

## 取材ノート

Q: 只見高校は、3組もあつたそうですね。

芳雄さん: 120〜130人ぐらい、今は30人そこそこじゃないかな。

Q: 拓海君、この「つり輪」をしてるじいちゃんの写真は初めて見たの？

拓海君: はい、そうです。今の姿とは全然違っていているし、やっていることも違うな、と思いました。

Q: 男子体操は、会津工業高校が強かったと記憶していますが…

芳雄さん: そうでしたよ、会津方面では会津高校、会津工業、ですね。安積、福島磐城もありました。只見には女子の先輩ですごい選手がいて、東北大会にいつも出場していました。先輩方が

**祖父: 目黒 芳雄さん**  
(昭和23年1月生67歳)  
**孫: 目黒 拓海君**  
(只見小6年)  
(平成14年5月生12歳)

後輩を引っ張って練習していました。

Q: その頃活躍していた選手は？  
芳雄さん: オリンピックの時から高校1年生でした。小野喬(たかし)さんとか…。テレビで、オリンピックの技を見て勉強しました。

Q: 器械体操部に入部した動機は？  
芳雄さん: 中学校の時に体操の指導していた女性の先生の影響ですね。中学校の時も先輩方はすごかったですから。



※何年前か前、昔取った杵柄と宴会場でバック転を披露したら、勢い余って御膳を壊してしまつたという。  
写真・文責: 菅 敬浩

Q: じいちゃんが得意だった「つり輪」今でも出来るのかな？と拓海君が書いています。

# こども聞き書き百選 『じいちゃんありがとう』より

## ばあちゃんから聞いたこと

三島町立三島中学校 二年 小柴 美蘭乃



この写真は昭和三十六年頃。まん中にいるのが、私のばあちゃん。当時二十六歳ぐらい。左側にいるのが私の曾祖母のよしのばあちゃん。奥にいるのが高祖母のばあちゃん。

ばあちゃんがお嫁に来て三年の時、カメラ好きだつたじいちゃんが撮つた写真です。

よしのばあちゃんは、旦那さんと戦争で亡くしてしまい、女手一つで四人の子供を育てた立派な人で、この時は私のじいちゃんも農業をやつていたそうです。はるばあちゃん、九人の子供を生み、学校の先生などみんな立派に

## 取材ノート

Q: 昔の写真を見ながらばあちゃんから話を聞くのは初めてですか？

美蘭乃さん: いいえ、この3年間、毎年聞いています。

Q: ひなのさん: 3回聞いています。

Q: ばあちゃんから話を聞いてみてどうですか？

美蘭乃さん: 今と違うことが多いし、ばあちゃんのばあちゃんの話とかを聞くことが出来て面白いです。

Q: ひなのさん: 今とはずいぶん違う昔の生活の様子がわかりました。

Q: 美蘭乃さんの文章の中で、曾祖母・高祖母の二人ともとても優しかった、とあります。

ヨシノさん: お嫁に来た時に、この家には男がお父さんしかいなかったから、私はすごく大事にされました。心の広いおばあちゃんでした。

Q: かわいひ孫さん達に昔の話をすると、というのはどうですか？  
ヨシノさん: そうねえ…、なかなか記録として残すことできないでしょ。だから立派な本にしたいだいて、今の子どもたちの考えていること

**祖母: 小柴ヨシノさん**  
(有美子)  
(昭和12年10月生77歳)  
**孫: 小柴美蘭乃さん**  
(三島中3年)  
(平成12年2月生15歳)  
**小柴ひなのさん**  
(三島中1年)  
(平成14年3月生13歳)

という話を聞いて、強くてかつつこい人だなあと思えました。

Q: ひなのさん、昔のお母さんとお父さんは素晴らしい、というの？

ひなのさん: 兄弟の仲が良さそうなどところとか、お互い助け合つてるところです。

Q: かわいひ孫さん達に昔の話をすると、というのはどうですか？

ヨシノさん: そうねえ…、なかなか記録として残すことできないでしょ。だから立派な本にしたいだいて、今の子どもたちの考えていること



もわかるし、ばあちゃんのことをごんな風に思つていのか、ということもあるんです。ばあちゃんのお料理は、スーパのより美味しいよ！なんて言われると、一緒に生活してて孫たちの声が聞かれるのは最高に幸せだなあと思えます。

美蘭乃さん: ばあちゃんのお料理、私大好き！  
写真・文責: 菅 敬浩

育てました。また二人ともとてもやさしくて、いろんな事を丁寧に教えてもらったそうです。ばあちゃんに子供が出来た時も、たくさん面倒を見てもらいました。そんなはるばあちゃん、よしのばあちゃんをとつても尊敬して、写真を見るときその頃の、四世代の家族生活をよく思い出つたそうです。

ばあちゃんから話を聞いて、初めて知る事だらけで、びっくりしました。はるばあちゃん、九人も立派に育てちゃうし、よしのばあちゃん、女手一つで育てたし、本当にすごいと思いました。

今年ではばあちゃんは七十八歳。もつともついろいろな話を聞きたいです。

## 奥会津の食材と料理



いびり餅(ふくれ餅)

里芋を練りこんだ餅を薄く切って、寒中に乾燥させる。春の訪れに心浮き立つ頃、油で揚げて食す。はじめはぬるい油でじっくりと広げ、別に用意していた熱い油で一気に揚げる。里芋が膨張を助け、5倍ほどにも膨らんだいびり餅は、さっくりとして絶品。

## 奥会津の生き物たち

ツバメ



春、真っ先にやってくる夏鳥。田んぼの害虫を食べる益鳥として、たいせつにされる。巣作りをすると、「ツバメもち」というもちをついて巣の下にそなえ、お祝いする集落があった。かつては、ツバクロと呼んでいた。

(鳥と花の写真・文：新国 勇)

## 魔除けと衣装



花草団子のお守り

昭和村では、2月15日(涅槃会：お釈迦様が亡くなられた日)に集落の寺から「花草団子」と呼ばれる小さな団子をもってきて仏壇に上げ、からからになるまで干す。乾いた団子をわら半紙に包み、着物などの端切れで作った袋に入れてお守りにする。昔から、山で道に迷ったときや、危ない目に遭ったときなど、このお守りに助けられるといわれてきた。三島町ではお釈迦様の舍利を模して「涅槃団子」と呼び、同じように袋や貝殻などに入れてお守りとする。雪解けを待ちわびながら、遠方に暮らす家族の分も作る。



マルバマンサク

残雪の中、万花に先がけて咲く。語源には諸説あるが、しいな(実の入っていないもみ)に花びらが似ているため凶作を嫌って満作とよんだという説に合点がゆく。稲架やカヤ屋根の結束材(ネジッキ)として利用された。

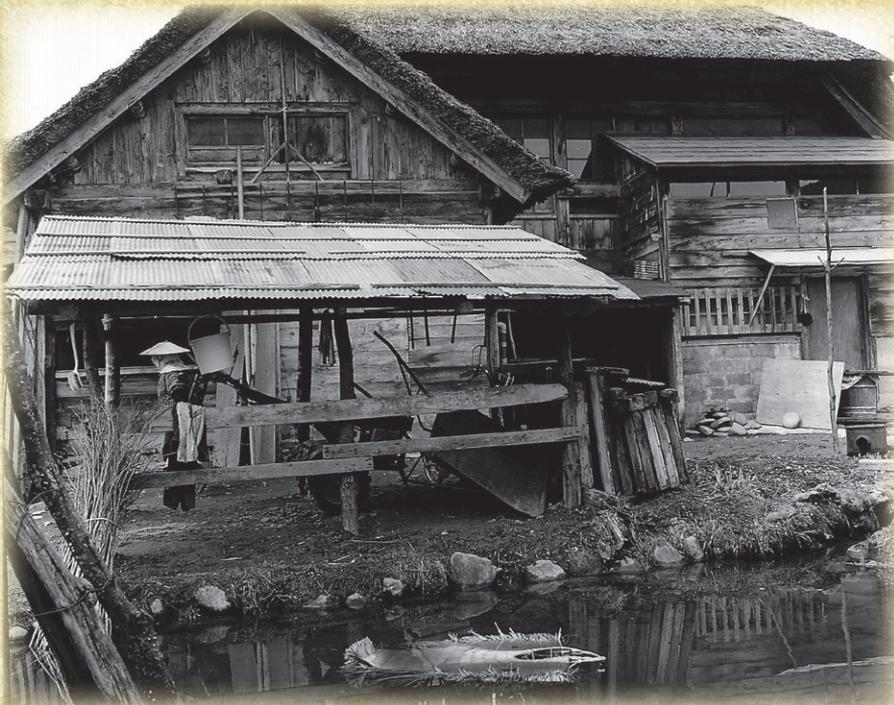
## 水場のある暮らし

写真・文 竹島 善一

番屋のある叶津から越後へ抜ける八十里越えの古道の中ほどに、中の平の集落がある。豪雪地である。それでも四月になれば雪も消えて、水を引いた池に蓑を浸す。野菜作りに欠かせない組木も根元を水にさしておく。こうしてしなやかな強度を得る。

静かな水面に春の胎動を見る。

(昭和54年4月 只見町中の平)



# Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「としよばあちゃん」 ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、只見町の「アケビツルとサワグルミの籠」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979  
奥会津書房 宛

●応募締切：2015年3月24日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号86号で発表いたします。



◎84号「にし」の答え：「あなた」

たくさんのご応募ありがとうございました!

# 読者コーナー



## お便り紹介

- 中通りから会津に嫁いできました。会津といっても広くて、場所によって文化も言葉も風習も違うことを知りました。これからも会津の地で幸せを築いていきます! (南会津町 H.Mさん)
- 昔の炭焼きはつらいこともあったけど、木の手入れをしているから、山には良かったのですね。(大阪府高槻市 O.Hさん)
- 毎月、聞き書きや取材ノートを楽しみに読みます。「温故知新」のとおり、先人の知恵を直接聞くという体験こそが、若者の「生きる力」になるのだと思います。これからもたくさんの人生を伝えていって下さい。(福島市 S.Kさん)
- 都会では味わうことのできない自然、生活、人の会話が聞こえてきます。自然で、いいなあー。(千葉県流山市 Y.Kさん)
- 若い時、奥会津の山を登っていたので、奥会津にはとても興味があります。時間がゆっくり流れているのがいいですね。(会津美里町 S.Kさん)

## 奥会津だより 定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

# トロッコ列車が走ります!



JR只見線  
春の特別列車  
運行情報

- ❖風っこ只見線新緑号 5月3日(日)~5日(火・祝)  
※会津若松駅~会津川口駅間(1日1往復)
- ❖風っこ只見新緑号 6月6日(土)・7日(日)  
※只見駅~小出駅間(1日1往復)

## 奥会津イベント情報

3月中旬~5月中旬

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
3月29日(日)	下坪福寿草まつり	昭和村	下中津川気多淵地区	昭和村観光協会 ☎0241-57-3100
4月1日(水)	溪流釣り解禁	伊南地域	伊南川、伊南川支流	南会津西部非出資漁業協同組合 ☎0241-72-2110
4月12日(日)	中小屋地区 福寿草まつり	南郷地域	中小屋地区福寿草群生地	南会津町観光物産協会 南郷観光センター ☎0241-64-5811
4月19日(日)	まつやま春待つ里	昭和村	松山地区	昭和村観光協会 ☎0241-57-3100
4月25日(土)	河井継之助記念館再オープン	只見町	河井継之助記念館	会津ただみ振興公社 ☎0241-83-1733
4月25日(土)~29日(水・祝)	カタクリ・さくらまつり	三島町	大林ふるさとの山	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
4月28日(火)	金山町妖精美術館オープン	金山町	金山町妖精美術館	金山町役場産業課 ☎0241-54-5327
4月29日(祝・水)	久保田三十三観音祭り	柳津町	柳津町久保田地区	柳津町役場地域振興課観光商工班 ☎0241-42-2114
4月下旬	奥会津博物館南郷館再オープン	南郷地域	奥会津博物館南郷館	南会津町教育委員会分室 ☎0241-76-7718
4月下旬~5月上旬	国道252号線再開通 ※積雪状況に応じて再開通	只見町	国道252号	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
5月上旬	高清水自然公園再オープン	南郷地域	高清水自然公園	(株)マックアースリゾート福島(道の駅きらら289) ☎0241-71-1289
5月2日(土)~5月6日(水・祝)	からむし市	昭和村	道の駅からむし織の里しょうわ	からむし工芸博物館 ☎0241-58-1677
5月3日(日・祝)~5日(火)	鬼子母神例大祭	三島町	西方地区、鬼子母神・西隆寺	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
5月4日(月・祝)	博士山水芭蕉まつり	昭和村	水芭蕉としらかばの杜(昭和村小野川地区)	昭和村観光協会 ☎0241-57-3100
5月10日(日)	第5回飯谷山 山開き	柳津町	野老沢会館前	柳津町B & G海洋センター ☎0241-42-2246
	要害山 山開き	只見町	只見駅前広場集合~要害山	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
	長卸山 山開き	館岩地域	木賊温泉「広瀬の湯」前	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-78-2546
5月12日(火)	愛宕神祭礼奉納歌舞伎	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
5月17日(日)	第50回博士山 山開き	柳津町	式典会場：博士山麓登山口	柳津町B & G海洋センター ☎0241-42-2246
5月21日(木)	尾瀬 山開き	檜枝岐村	式典会場：福島県檜枝岐村 御池	檜枝岐村企画観光課 ☎0241-75-2503
5月23日(土)	尾白山 山開き	伊南地域	尾白山(奥会津博物館伊南館前集合)	南会津町観光物産協会 ☎0241-64-5711 62-3000
	大嵐山・湯ノ倉山 山開き	館岩地域	湯の花温泉交流センター	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-78-2546



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)  
発行日：3月10日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525  
http://www.okuaizu.net ☐webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。